

# 「第1回のせのセッション」アンケート集計結果のご報告

第1回ワークショップにご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

当日、皆様からお寄せいただいた貴重なご意見・ご感想を、今後のプロジェクトの参考とするため公開いたします。

今回の対話を通じて見えてきた、能勢の未来や図書館への期待、そして運営に向けた建設的なアドバイスを大切に受け止め、第2回以降の開催に活かしてまいります。

---

## 1. ワークショップへの参加動機と満足度

参加のきっかけは「チラシ」が最も多く、次いで「LINE」「Instagram」とSNS経由での参加も目立ちました。

満足度については、参加者の約85%が「満足」または「やや満足」と回答しており、全体として非常に前向きな評価をいただいております。また、次回の「第2回のせのセッション」についても、ほとんどの方が「出席」の意向を示されています。

## 2. これからのおせのセッションに期待すること

今後のプロセスや対話のあり方について、多くの期待が寄せられました。

- ・現実的な対話とプロセス：夢やアイデアだけでなく、予算や数値、建物の耐震性、企業誘致エリアとの関係など、現実的な課題も含めた議論を望む声があります。

- ・多様な主体の参画と交流：町外の方、若い世代、自営業者など、より幅広い層の参加を期待する意見が目立ちます。また、グループを固定せず、多様な方と交流できる仕組みも求められています。

- ・「対話」を形にする：住民の「生の声」が単なる報告に終わらず、実際の図書館づくりや町づくりに反映されるステップになることを期待されています。

- ・情報発信の充実：参加できない方への共有や、現状分析（図書室の利用状況など）の共有を求める声も上がっています。

### 3. 自由回答（感想・意見・要望）

ワークショップの雰囲気や運営、具体的な設備について多様な意見をいただきました。

・**対話形式への評価**：「一方的な意見伝達ではなく対話の形が良かった」「図書館から町を良くしていくアプローチが面白い」など、本手法への共感の声が多く寄せられました。

・**若者や学生の参加**：今回、高校生が参加したことを歓迎する声が多く、今後さらに小中高生や大学生が参加しやすい環境づくりが望れます。

・**開催方法の工夫**：働く世代が参加しやすい「夜間開催」の検討や、集中して対話できるよう「託児室の別室化」を期待する具体的な要望もありました。

・**早期実現への期待**：図書館の完成時期を気にかける声や、屋外の芝生広場だけでも先行して完成させてほしいといった、新しい居場所の誕生を待ち望む声が届いています。

---

以下、参加いただいた皆様のアンケートのご回答です。

■「のせのセッションをどのように知りましたか（複数回答可）

チラシ（14名）、ホームページ（3名）、LINE（8名）、Instagram（8名）、その他（7名）

■「第1回のせのセッション」に対する満足度を教えてください

満足（15名）、やや満足（9名）、どちらともいえない（4名）、

やや不満（0名）、不満（0名）

■これからの「のせのセッション」に期待すること

アイデアをまとめていくプロセスが現実的な数値も交えながらすすめて頂きたいです。

能勢町の現状や、住民の生活全体から、これからのことを考えていくという、今回の手法は、とても大切だと、きょう参加してみて感じました。今後のワクワク感が↗↗です。

能勢町外からも参加してもらって、いろんな意見が出し合えること。世代をこえて、たくさんの方の意見を出し合えること。

盛会でありますように
これから回を重ねて、すばらしい(声を繁栄させた)ものに構築されていく事を期待したい。
能勢に関わる人皆が納得出来るような企画・内容が今後も続くと良いなと思います。
のせのセッションを通じてつながりが増えればいいなと思う。また、私の対話能力も上がればいいと思う。
役場の方々の思いもそれぞれ聞いてみたい。図書館だけでなく、能勢町全体がのせのセッションを通して良くなっていくことを望んでいます。
図書館を通じて、能勢の魅力が高まれば良いと思います。
自分たちの暮らしの中から図書館に発想をとばす方法は、とてもおもしろかった。
他のグループの意見を見る機会(次の最初にでも)があったらいいかな。
図書館に関する具体的な要望もしたいです。個人的に、川西市の図書館との相互利用を期待しております。(電車で1番近いので、、、)
参加者からのいろいろな考え方を広く出し合える(目標に向っての話し合い)今回の様に。グループも固定ではなく、いろんな方の意見が聞けること
ワークショップでいろんな話が聞けたので、話がふくらんでいいものが出来ればと思う。
いろんな方とお話しできれば
移住されて来られた方とずっと住んでいる私との感覚の差が大きい。その段差がなくなればいいなと思う。「好きだなあ」と思うシーンの話はあたりまえすぎて共感できる...までいかない... 残念。ただ新しい発見ではあったかな~。
第1回参加者だけでなく、他にも広がって意見がさらに集まること。
もう少し現状の分析(図書室利用状況など)の話もきけるとよかったです。
町民の希望をたくさん聞いて実現してほしい
今回色々な方のお話をきけて、やはり能勢に対して思っていることが違ったり、大変有意義な交流ができたので、この様な形で「対話」する時間をぜひ長くとっていただきたいです。
住民の「生の声」が現実になっていくステップになるよう期待しています。私もお役に立

ちたいと思いました。

初めてのワークショップ出席でしたが、初めてお会いする方々と話す機会がもっと増えると良いと思います。具体的なお話につながればと期待をこめて。

問題点(楽しく過ごすため)が、何か見えてきて、少しでも生活しやすい町になればと思っています。

具体的な話ができるとよい。利用しやすい図書館ができると願っているが、予算や建て物の耐震性、企業誘致エリアとの関係など、現実的な課題はどうなっているのか?

方向性や予算、コンセプトを考えたい。

さまざまな分野になると図書費はすごい(予算)

ボランティア(図書部門)→読み聞かせ、ストーリーテリング、読書サークル・相談窓口

能勢は自営業の方が多いように思うので、日のように参加できない人も多いかと思います。車を運転しない方も参加しづらいと思います。参加できない方の意見をとりいれたり、のせのセッションでどんな話がされたかを発信していただくとありがたいです。

### ■ご感想、ご意見、ご要望ございましたら自由にお書きください

行政の方と、スーツではなく私服の方がよりなごやかになるかと思います。

ワークショップのゴールがもう少し明確だとより良い意見が出るかと思います。

世代の違う方、若い方が多く、よかったです。

今回はグループに 1 人高校生がいて、普段高校生の声を聞く機会がないので、とても良かったです。次回以降、もっと学生の参加が増えたら良いと思いました。

いろんな方のご意見、感想等とても共感できました

本日、グループ内に高校生がいた。(若い人の参加はめずらしい)年齢制限のない参加、もっともっと増えて欲しいと思う。2回目以降の更なる参加人数増はどうでしょうか?(1回目はチャンスなかった)(※参加させていただき、大変よかったです。この様な企画をもっともっと増やして欲しい。)

20 代の意見が…という話が出ましたが、20 代はきっと地域というより外の世界を楽し

む世代かと思いました。今20代の方がそれ以降能勢に魅力があれば住んで、地域と関わっていくのではないかでしょうか。そういう能勢を作りたいなと思いました。

参加出来て良かったです。第1回ありがとうございました！

お淨とるりりんにかわる新しい能勢のPRキャラクターができるかなー(12/21に卒業しちゃうので)

現地も見てみたいと思います。

ありがとうございました。世代のちがう人、初めてお会いするメンバーがほとんどの中で、すごく刺激をもらいました。

いろんな年代の方の意見が聞けて、参考になりました。

グループわけ、同一なく、別の方々との交流が出来るといいなと思います。

最初に説明があったように、ワークショップをしましたの報告ではなく、皆さんの思いを形にしてほしい

開催時間を夜にしてほしい(時々でも)(仕事を休めない時がある)土曜開催で、参加をあきらめた方もある。(飲食関係など休めなくて)

とても話やすい雰囲気でよかった。でも、私の感覚でしゃべってしまうので他の人はしゃべりにくかったかも…スマセン

小中学生、高校生、他学生の方にも参加して欲しい。(一番本にたくさん触れる時期だと思うので)

できれば子供あづかり室は別室(よこのへや)などが集中できるかもしれません。

資料なども、もったいないから白黒でよいと思います。(こちらでコピーしているなら)→ペーパーレスしてたらなおよいと思います。

子どもはすぐに大きくなってしまいます。早く集える場所ができたら良いなあと思います。完成まで、何年くらいかかりますか？公園(屋外の芝生広場)だけでも、早く完成しませんか？期待して待っています！

ありきたりの「地域活性化」ではない。地域に根ざしたものという行政のお考えに、素晴らしいと思い感謝です。いい機会チャンスを作っていただけたと思います。ありがとうございます。この様な機会を作って下さった町(スタッフ)に感謝します。

町へ一方的に意見をお伝えする方法ではなく、対話する形は良かったと思います。

能勢の不自由な所やいい所など、同じ班の方々と意見交流ができました。

ぼんやりしていた地域の認識が、少しハッキリしてきました。

どの年代も自由に学べる場として図書館があってほしい。

さまざまな意見を聞くことが出来た。

ボランティア(図書部門)を立ち上げるきっかけにもしたい(社会参加)

普段話すことのない方々をお話できて楽しかったです。初めから図書館について話すのではなく、図書館から町を良くしていくというのがおもしろいです。託児もできてありがとうございます。

### ■ 「第2回のせのセッション」の出欠をお知らせください

出席 (25名)、欠席 (0名)、未定 (3名)

このアンケート結果をベースに、より具体的なテーマに踏み込む「第2回のせのセッション」を開催いたします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。